

## 第二回広瀬団地再生ビジョン策定プラットフォーム定例会 議事要旨

### ■ 概要

---

- ・日時：令和6年6月20日（木） 15時30分～17時30分
- ・会場：広瀬団地2丁目集会室

### ■ 議事

---

- (1) 広瀬団地を含めた地域の特性
- (2) 再生ビジョンのイメージ
- (3) ワークショップについて

### ■ 意見概要

---

#### (1) 広瀬団地を含めた地域の特性

- 広瀬団地には、しいのみ公園とすずかけ公園などの小さな公園が点在している。空き地もあるため、それらを改善して公園を作ってほしい。県・市・公社だけにお任せするのではなく、事業者や住民も含めて自分たちで作っていく方法を考えていけると良い。
- 広瀬を福祉のまちにしたらいのではないかと考えている。事業者の中で広瀬ステーションに面する通りを福祉ストリートにしたいという話が出ている。
- 公園整備に格差がある。愛宕公園は綺麗に整備されており子どもが多く集まっているが、すずかけ公園は草がいっぱいで子どもが遊べる状態でない。低学年から高校生までが遊べるようなバスケットコート等があると子どもから大人まで自然に集まってくる公園になるのではないかと。
- 広瀬団地は、近くに銀行や郵便局などもあり住みやすいまちである。一方で、50～60年後を考えると高齢化も進み、人が集まることは考えづらい。このまちに住みたいと思ってもらえる魅力を、プラットフォームを通して見つけていきたい。
- 高齢者を見守るシステムがあると良い。現状、民生委員が1人で50人ほどの単身世帯の見守りをしている状況であり、今後の高齢化社会を見据えると、広瀬団地全体でフォローしていきたい。
- 団地の外に住んでいる人も、安心してランニングできるような場所があると良い。そのような場所があると、将来子どもを持った時にも住む場所の選択肢に入ると思う。

#### (2) 再生ビジョンのイメージ

- 一斉にまちを整備すると一斉に老いが来てしまう。例えば、高齢になったらタワーマンションに移ってもらい、その空いた中古住宅に若い人に入ってもらおうという方法のように、まちの中でぐるぐる回す開発事例もある。広瀬団地でもこのような方法で進めていくことも考えられる。

- まちづくりを知らない人にとっては、視点が広すぎて意見を出しづらい。問に対して自分の思い描く未来を言うだけでは、地域に根差したものではなく面白みがなくなってしまう。また、60 年という時間軸を考えると、やることの優先順位をつけて検討していくべき。
- PF の場で事前に意見を出す場がないため、例えばチャットワークなどで気軽に提案や思いを共有できるツールがあると良い。また、住民向けにも、後閑町を含めた広瀬町のポータルサイトがあれば、地域の情報共有・発信ツールとして広瀬のプロモーションにもつながるのではないかな。
- 地域が良くなるためには、コミュニティの視点が必要。子どもからお年寄りまでが親しみを持てるものがあれば、整備も進み地域づくりにもつながると思う。
- まずは、身近で取り組める町レベルの小さなプロジェクト（例えば、お祭りやキッチンカー等）からコミュニティを図っていけると良い。